

③ 脊髄神経

31対(頸神経8, 胸神経12, 腰神経5, 仙骨神経5, 尾骨神経1)

それぞれ対応する椎間孔を通して脊柱管から出ていく。

前根 → 運動, 後根 → 知覚

脊髄神経の分布は規則的で特に皮膚の知覚神経の分布は分節が明らかで、皮膚筋(デルマトム)という。

④ 脳幹

延髄, 橋, 中脳 をよめて脳幹という。

橋と小脳の上に続く狭い部分。上丘と下丘があり、

上丘は視覚, 下丘は聴覚を司る。

脳神経Ⅰ,Ⅱを除いたすべての脳神経の核がある。

灰白質のかたまり

生命維持に不可欠な反射を含む自律性運動性の反射の中枢が密集

⑤ 間脳 ... 視床, 視床下部

↳ 卵形, 灰白質

嗅覚を除くすべての感覚が大腦へ伝えられる。

自律神経の最高中枢

多くの異なる器官とある目的に向かって協調的に統合。

⑥ 小脳

橋と延髄の背側, 上面は大腦半球におおわれている。

中央のくびれたところ... 虫部

両側のふくらみ... 小脳半球

協同運動の中枢(平衡感覚とか...)